

# 平成 23 年仙台市の人口動向

人口の動向は、自然動態（出生及び死亡の動き）及び社会動態（転入及び転出の動き）によって説明されます。この特集は、平成 23 年 1 年間の仙台市の人口動向について、社会動態を中心に報告するものです。

## 利用上の注意

- ・本報告書で用いた地域区分は次のとおりです。

仙台都市圏内の他市町村：塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村

北海道地方：北海道

東北地方：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

東北 5 県は、東北地方から宮城県を除いた地域

関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県

近畿地方：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国地方：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※なお、本文中にある「その他の地方」は、特にことわりのない場合、上記のうち東北地方と東京圏を除いた地域をいいます。

## 用語の説明

- ・登録人口 = 住民基本台帳人口 + 外国人登録人口
- ・人口増加数 = 自然増加数 + 社会増加数
- ・自然増加数 = 出生数 - 死亡数
- ・社会増加数 = 転入数 - 転出数 + その他の増加数（職権記載・消除、国籍取得・喪失、転出取消等）

・本報告書は、平成23年1月から12月までの仙台市の人口動向についてまとめたものです。  
・なお、今回の集計には平成23年3月11日の東日本大震災以降の人口移動も含まれております。

# 解 説

## I 登録人口による人口動向

### 1 概 要

平成 23 年末の登録人口は 103 万 2059 人でした。

また、平成 23 年 1 年間の人口増加数は 5569 人となり、平成 22 年の人口増加数 3370 人に比べ 2199 人増加となっています。その内訳は、自然増加数が 37 人（対前年 1996 人の減少）、社会増加数が 5532 人（対前年 4195 人の増加）となりました。（図 1、表 1、統計表第 1 表）

図 1 人口増加数の推移（平成 14 年～23 年）

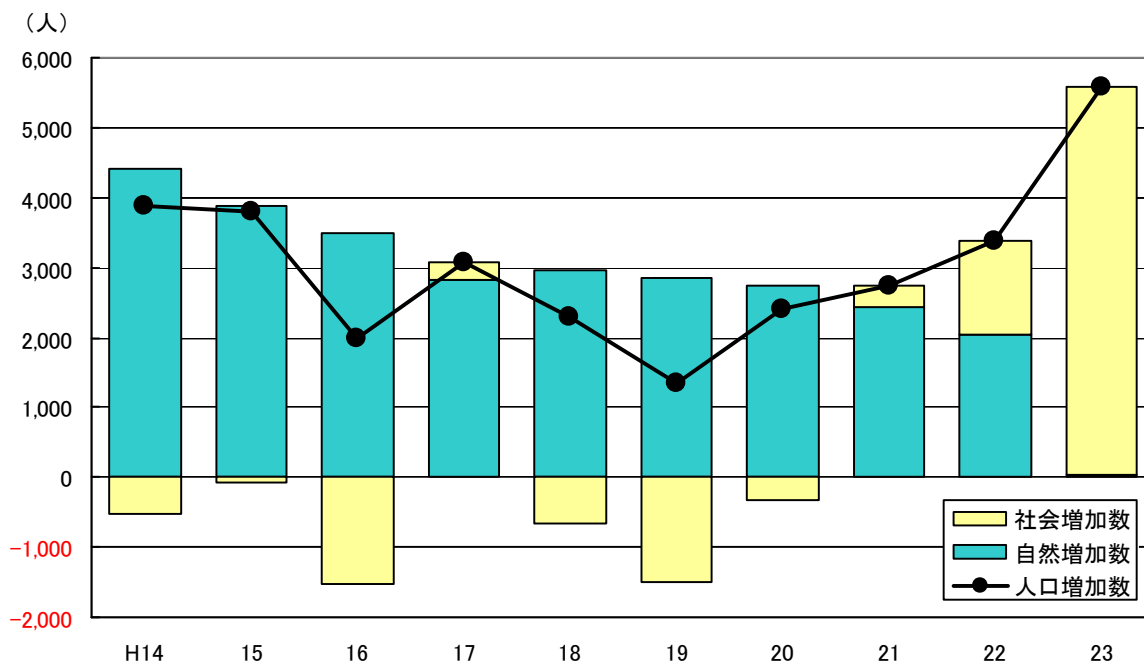


表 1 登録人口の推移—全市、区（平成 18 年～23 年）

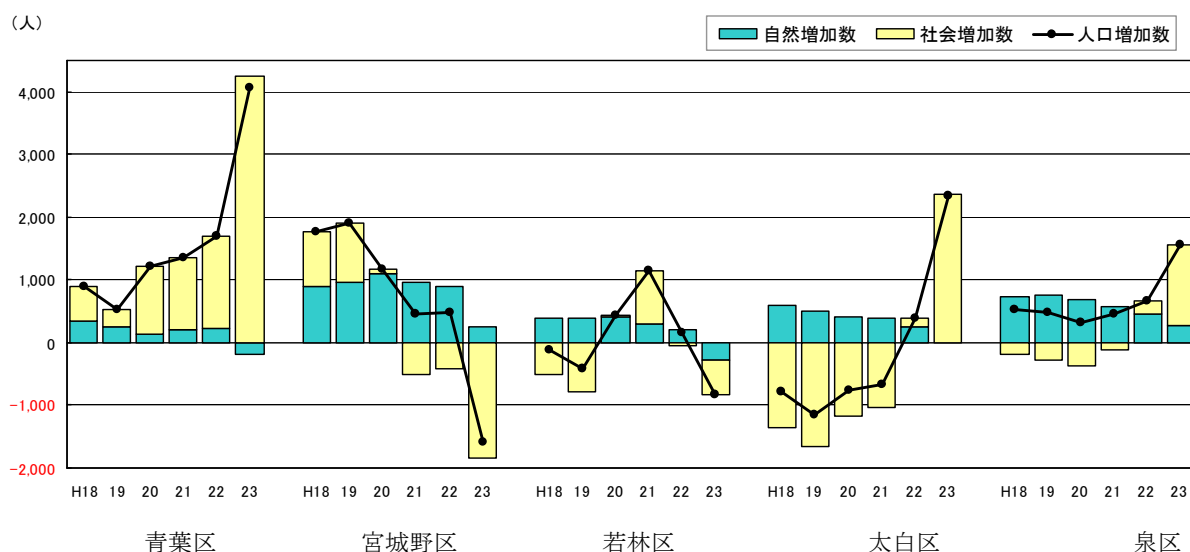
各年末（単位：人）

年次	仙台市	青葉区	うち 宮城総合 支所	宮城野区	若林区	太白区	うち 秋保総合 支所	泉区
平成18年	1,016,611	274,843	65,498	181,774	127,879	221,783	4,661	210,332
19	1,017,967	275,377	66,499	183,682	127,466	220,628	4,674	210,814
20	1,020,376	276,603	67,572	184,863	127,906	219,871	4,609	211,133
21	1,023,120	277,952	68,260	185,316	129,042	219,210	4,541	211,600
22	1,026,490	279,641	68,758	185,789	129,202	219,602	4,404	212,256
23	1,032,059	283,703	70,237	184,199	128,380	221,952	4,352	213,825

区別の動向をみると、宮城野区、若林区で人口が減少し、青葉区、太白区、泉区で人口増加数が前年の2倍以上になりました。特に太白区では平成22年に比べて人口増加数が約6倍となっています。

人口増加数が最も多かったのは青葉区の4062人（自然増加数△192人、社会増加数4254人）で、以下、太白区の2350人（自然増加数△10人、社会増加数2360人）、泉区の1569人（自然増加数272人、社会増加数1297人）でした。人口減少数が最も多かったのは宮城野区で1590人減（自然増加数248人、社会増加数△1838人）、次いで若林区の822人減（自然増加数△281人、社会増加数△541人）となっています。（図2、表1、統計表第1表）

図2 人口増加数の推移一区（平成18～23年）



## 2 自然動態

平成23年の出生数は前年より537人減少して8897人、死亡数は前年より1459人増加して8860人となったことから、自然増加数は37人となり、平成22年の2033人に比べ1996人減少しました。（図3、統計表第1表）

出生数はここ数年ほぼ横ばいで推移していますが、死亡数は増加の傾向にあったところ、平成23年は大幅に増加しました。

区別の動向をみると、出生数は、すべての区においてほぼ前年より減少しています。死亡数は、すべての区で前年より増加しました。

自然増加数が最も多かったのは泉区の272人（出生数1722人、死亡数1450人）で、以下、宮城野区の248人（出生数1991人、死亡数1743人）、太白区の△10人（出生数1883人、死亡数1893人）、青葉区の△192人（出生数2172人、死亡数2364人）、若林区の△281人（出生数1129人、死亡数1410人）でした。（図4、統計表第1表）

図3 自然動態の推移—全市（平成14年～23年）

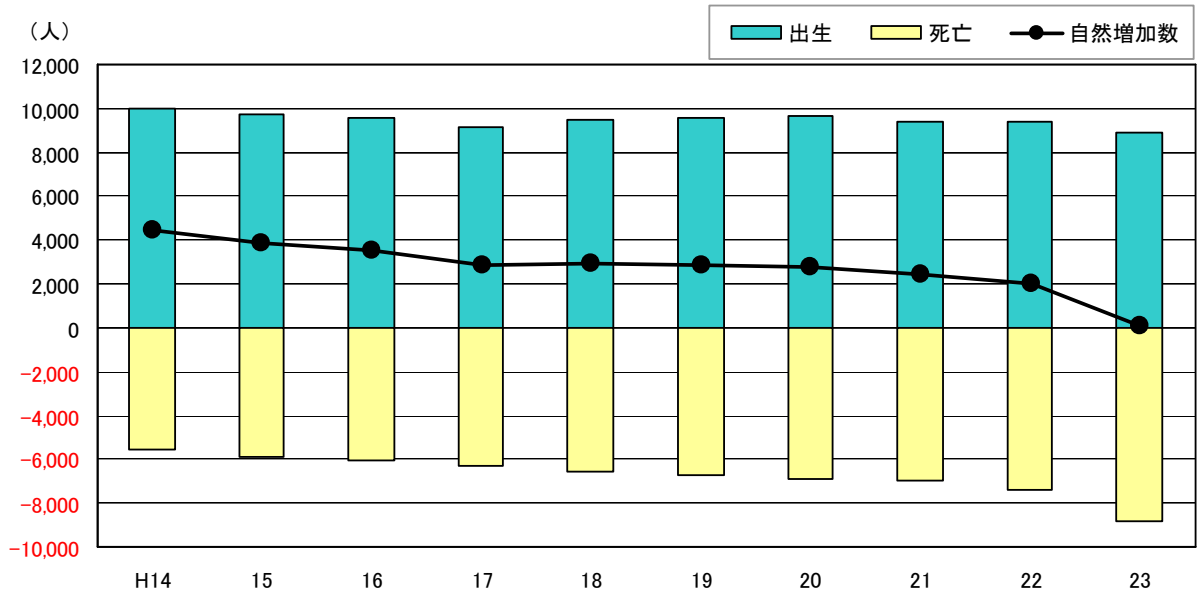
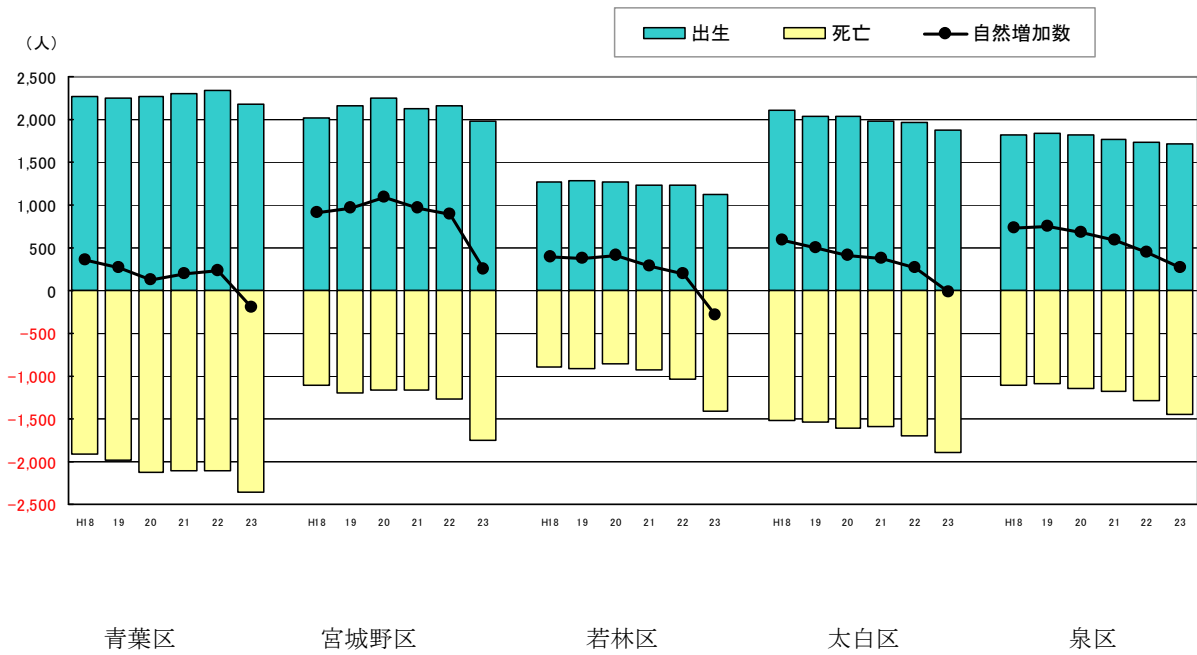


図4 自然動態の推移—区（平成18年～23年）



### 3 社会動態

平成 23 年の転入数は 7 万 6435 人で前年より 8834 人の増加、転出数は 7 万 1066 人と前年より 4819 人の増加、この結果、転入・転出数の差にその他増加数 163 人を加えた社会増加数は 5532 人となりました。

区別の動向をみると、青葉区、泉区で県内移動、県外・国外との移動がともに転入超過となりました。若林区、太白区では県内移動が転入超過、県外・国外との移動が転出超過となりました。宮城野区では県内移動、県外・国外との移動がともに転出超過となりました。

社会増加数が最も多かったのは青葉区の 4254 人（転入数 2 万 4434 人、転出数 1 万 9965 人、その他増加数△215 人）で、以下、太白区の 2360 人（転入数 1 万 4888 人、転出数 1 万 2680 人、その他増加数 152 人）、泉区の 1297 人（転入数 1 万 3258 人、転出数 1 万 2062 人、その他増加数 101 人）、若林区の△541 人（転入数 9628 人、転出数 1 万 180 人、その他増加数 11 人）、宮城野区の△1838 人（転入数 1 万 4227 人、転出数 1 万 6179 人、その他増加数 114 人）でした。

（図 5、統計表第 1 表）

図 5 社会増加数の推移—全市、区（平成 18 年～23 年）

